

第20号

平成21年3月

●スペースパークボランティアの会●

S.P.Vつうしん

発行:スペースパークボランティアの会 広報部会

〒963-8002 福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL024(936)0201



「仙台市科学館・ 仙台市天文台」研修記

仙台市科学館に続き、仙台市天文台を見学。ここは昨年7月にオープンしたばかりの真新しい天文台。施設は日本最大級、人気も上々とのこと。我々も、宇宙を一大テーマとし、素晴らしいプラネタリウムを持つ科学館（それこそ、スペースパーク！）で育っております。天文の話題にも事欠きません。

入ってまず、清々しい空間の中に旧天文台の装置がお出迎え。期待が高まります。パスポートを受け取り、まずは展示ゾーンへ。あたり一面すべて星と宇宙の世界。けれど小難しい様子はなく、おいでよと手招きされているような印象。あちこちに楽しげな装置がちりばめられている。惑星の動きをぴったり再現、あるいは今話題の日食が一目でわかる台。潜り入れば目前で月が満ち欠けする台…「見て触ってわかる」、理論と興味の橋渡しをしてくれる、まさに科学教育の原点を教えてくれました。

次は観測ゾーンへ。この天文台が誇る、最新鋭の大型望遠鏡。その口径、なんと1.3m!国内でも最大級。これを、実際に覗かせていただけること。熟練者でなくとも、ウズウズしてしまいます。今回のターゲットは、青空の中の金星。小気味

よい説明の後、ドームは大きく開かれます。肉眼では全くわかりません。科学館のおかげで見慣れた金星も、青空の中…そっと、接眼レンズを覗きこめば、、、ああ、金星だ!白くはっきりと、その満ち欠けもよくわかる。また一つ、経験が増えました。

最後はプラネタリウム。25mのスクリーンサイズは我々のところを少々上回って日本最大。真新しい座席に座って見上げれば、開けた星空。肉声解説とともに番組は進み、冬の星座からオリオンの物語、そして星の生誕について。要所でクイズが3題。内容の濃いものでしたが、やはり馴染みの声、馴染みの場所が一番。いつもの科学館、いつものプラネタリウムが恋しくもありました。

帰り際、振り向けば夜空に金星がキラリ。もうじき、オリオンも現れるのでしょうか。こうして研修会は幕を閉じました。

(熊本 隆之)





2月8日、S.P.V会員は、2台のバスに分乗し午前8時15分に郡山駅前を出発し、仙台へ向かいました。

車窓からは、安達太良山が雲間に見え隠れしていましたが、仙台に近づくにつれて強風に雪の混じる寒い日となりました。

最初の訪問は仙台市科学館でした。担当職員、ボランティアの方々から館内や展示品などの説明を受け、グループごとに分かれ見学をしました。

次に仙台市天文台を訪問しました。昨年の夏、仙台市郊外に新しく完成しました。入館し、最初に目に留まったものは、正面に置かれた大望遠鏡でした。(旧天文台で最近まで活躍していたものです。)展示ゾーンには、沢山の太陽系模型や、CD映像があり、天文の世界に触れることが出来ました。

東北一の規模を誇るプラネタリウムは、これまでの「光学式プラネタリウム」に「デジタルプラネ

タリウム」を融合させたハイブリットシステムのもので、円天井いっぱいに映し出された無数の星は、美しく輝き私達入場者を感動させてくれました。

尚、当日の夕方から翌朝までの星空で、スタッフの方から冬の大三角形や星座の見つけ方など、解り易く説明していただき、興味深く鑑賞することができました。

今年は、「世界天文年」科学者ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡を夜空に向け、観察を始めて400年の節目の年だそうです。記念の年に、天文台を訪問することができ幸運でした。

天文台ボランティアは、4月からの活動開始に向けて、現在30名の方が、天文台の講座を受講中とのことでした。ご活躍を期待します。

今回、全体研修に参加し、施設や他館のボランティア活動を学んだことを、今後の活動に生かされたらと思いました。

(小栗 雅子)

S.P.Vの会全体研修

今年は、標記の研修会を仙台市科学館のボランティアの活動状況を見学し、われわれボランティア活動の活性化と組織の運営などを参考とするため実施する事になり、予定通り2月8日決行された。

折悪く天候も荒れ模様で心配されたが、予定の時刻に出発し一路仙台に向う。

現地(科学館)には若干の遅れで到着し、早速2階の会議室に誘導され、同館の概要の説明を受けました。予定の時間通りのスケジュールにいかず、遅れた時間をそのまま各々の展示場を見学したため、さぞかし忙しいだろうと思ったが、ことのほか案外スムーズに見学できた。

展示場は3階・4階にわかれ各々のパートに

区切られていて見やすく、幼稚から小学生などは、大変興味がある様に感じられた。実際に子ども達が各パートに群がって賑わいを呈していた。展示物は化石類、鉱石類と細かい品物もあるため見やすいように引出し式にしたり、散乱しない様な工夫がなされていた。また自然史系展示場の象やマンモスなど全部で11体の展示は圧巻であった。ボランティアの内には、専門的な知識を持った方も居て、大分充実した活動が行われている様に見受けられた。その他、理工系・自然系・生活系など各コーナーについては、ガイドの説明があり大変理解しやすかった。次に天文台に寄りプラネタリウムを見て予定をオーバーして郡山に到着した。

(国分 辰夫)



今回私たちが訪れた仙台市科学館は、空調設備の不具合により再オープンしてから一週間とのことで、館内は待ちわびていた来館者でいっぱいでした。

館内の3つの展示室には数えきれないほどの展示物が並び、その中でも圧巻だったのは、日本一の展示数を誇る象に関する標本の数々でした。チャレンジ・ラボでは、ボランティア(サイエンスインタプリタ)の皆さんのもと、グライダーなどを作り大喜びの私たちでしたが、研修の目的を忘れるなくさっそく質問を投げかけました。「展示物を見るだけではなく、生活や学校の勉強とどう結びついているかを説明することが必要」との言葉に一同納得です。サイエンスフェスティバルで行う工作のヒントを得て、話し合う姿も見られました。ガイドツアーは内容の違うもの3つ行われたので、それぞれに好きなものに参加しました。電波

に関するツアーに大勢集まり、説明のボランティアさんは少し緊張気味だったようです。

施設を見学した後は、研修室でボランティアの方に活動について聞かせて頂きました。休館だった期間を利用して勉強会を開くことができたことや、今まで個々で行っていたボランティア活動をクラブとしてまとめようとしている話を聞き、改めてボランティアの会は自分たちの手で作り上げて行くものだと、再認識しました。

充実した研修となったことを、仙台市科学館の皆様に感謝いたします。

(谷口 真生)



第12回案内サービスボランティアミニツアー 「郡山歴史跡探索」を実施して

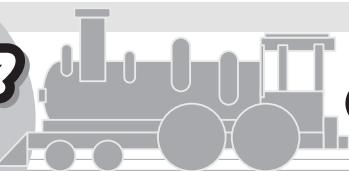
9月28日、今回は郡山に伝わる3大美女伝説の一人「うねめ伝説」(今から1300年位前)について探索しました。又今回のミニツアーは、新しく入られたボランティアの方たちを中心に実施いたしました。当日は9時にボランティア室に集合し、事前に準備された資料を勉強して9時30分、総勢16名、3台の車(館側1台)に分乗して館を、出発しました。

ささやき橋→三ヶ寺→山の井公園、ここで昼食に入り、心配された天候も薄曇りで気温も丁度良く、それぞれ持参されたお握りやお漬け物を頂きながら、楽しく会員同志のコミュニケーションを図り、いにしえの「うねめ」について思いを馳せました。近ごろ滋賀県の「紫香楽宮跡」にて、うねめ伝説のもととなった、例の歌「安積香山 影さへ…」を詠った木簡が発見されて研究者を驚かせています。昼食後は、王宮伊豆神社→天皇系葛城王を奉った神社を探しました。王は(春姫)を奈良の都にうねめとして連れて行った見返りに3年間の年貢米を免除しましたので、地元では感謝の心をこめて奉ったそうです。神社内には葛城王の祠があり、神社の裏手には、うねめが化粧する際に使ったとされる「姿見の清水」もあります。三ヶ寺については、曾我兄弟の仇討ちで有名な工藤スケツネに因んだ寺で、それぞれ宗派の違う右から「曹洞宗」「真言宗」「臨済宗」と三つの寺が、並んで立っています。

(先崎 豊)



鉄道ジオラマ グループ



鉄道アラカルト

あなたも始めませんか。Nゲージ鉄道模型を!

Q. 鉄道模型はどこで売っているの?

A. 大きな模型店、大規模玩具店等で扱っています。

Q. 鉄道模型は高くないですか?

A. いさか高額になりますが、最初は入門セットの購入をお勧めします。入門セットは車両、線路、コントローラー等がセットになっています。金額は2万円から3万円程度です。

Q. 入門セット購入後、車両や線路を増やすことはできますか?

A. 車両や線路、ポイント及び構造物、建物等は単品でも発売されています。

Q. 参考になる書籍等はありますか?

A. 鉄道模型関係の本や説明書は多くあり、書店で扱っています。

(渡辺 知彦)



内田博士の 魂の叫び!! ⑯『多事争論』

遡ること2年前、卒業生が派遣の仕事に転職したという風の噂を耳にした。丁度タイミングよく正社員募集の職を紹介しようと彼に連絡を訪った。すると、近々結婚すること。であるなら尚更のこと。と思いきや、派遣の仕事は多少賃金は安いが気楽で良いとのこと。その彼から先日電話が入った。彼曰く、1月で契約が切れ継続なしとの通告があったと言うのだ。そこで、2年前に職を紹介した件にチャンスを見出そうとしたのであろう。が、時既におそとは言うまでもない。「だから言わんこっちゃねーだろう!」と言いたかったのだが「よく電話くれたね」としか言えなかった。先がなく後戻りもできない状態を『崖っぷちに立った』と比喩する。俗に言う派遣切りに遭った彼はまさしくそんな状

態のはずであるし、少なくともこのような事態になるとは予想だにしなかったに違いない。実際、崖っぷちに立てば怖くて足元を見ることなんてできないし、地に足つけろという次元でもない。だからと言って冷静に自分自身を省みる暇もない。“飛び込め”なのが“飛び込んでみろ”なのか、彼にどのような激励をすることが最善なのか、何れにせよ砂上樓閣に対する執着を捨て、未知なる世界に飛び込んで新たな自分を開拓してもらいたい。そう祈る日々である。



今号のきら星☆さん

科学ボランティアグループ 佐藤博志さん

「ありがとう」の言葉に誘われて!

平成15年7月から始まった、S.P.Vのボランティア活動開始も6年目になりました。

主に、土・日曜日での21F展示ゾーン内ワークショップカウンターが活動場所です。

科学的な興味を持つ工作、「風車」から始まり「スリットアニメ」等の手作りの楽しさ、もの作りのお手伝いをしています。

10分から20分の短い時間の工作ですが、親子で楽しく会話しながら工作中に熱中する姿や、完

成したときの笑顔での「ありがとうございます」の一言が嬉しく、今まで続いています。

今では常連さんもいて、作品に絵を描くとき「チユーリップの絵」「恐竜の絵」といつも同じ様な絵を描きながら親しく話しかけられます。

夢は、今工作に参加している子供たちが科学に興味を持ち、15歳以上になった時S.P.Vボランティア活動と一緒にすることです。

今日もまた、子供たちの笑顔と「ありがとう」の一言を聞きにカウンターに向かいます。



あなたの情熱が
大きな夢を育てます

ボランティア大募集

期間／3月1日(日)～4月30日(木)まで

今年も生涯学習ボランティアを大募集します。ボランティア活動に興味のある方、ボランティアの経験がないので…という方も、やる気と情熱さえあれば大丈夫!! 私たちと一緒に楽しみましょう。それがボランティア活動の第一歩です。お気軽にお問い合わせください。

応募方法

①応募ハガキ・郵便ハガキに必要事項を記入し郵送

②科学館インフォメーション直接応募

必要事項／郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・性別・生年
月日・電話番号・職業(学校名・学年)・希望のボランティア
グループ名・登録前オリエンテーション希望日・志望動機

| 希望活動グループ | 主な活動内容 |
|----------|-------------------------|
| 案内サービス | 展望ロビーからの風景や歴史の案内、紙芝居の実演 |
| 鉄道ジオラマ | Nゲージ鉄道ジオラマの案内や説明 |
| 科学 | 科学工作体験のお手伝い |
| 天文 | 天体観望会のお手伝い |

◆健康で15歳以上の方、無償で活動可能な方
(昼食代・交通費はありません)

★詳しくは募集ポスター・チラシをご覧ください。

登録前オリエンテーション日程 5/7(木)または5/10(日) ● 時間14:00～16:00 ● 場所:ふれあい科学館20階多目的研修室

天ボラの

知識の泉¹⁴

● 土星の環の消失

土星の環は幅が数十万km以上あるのに対して厚さはわずか数百mしかありません。

そのため、環を真横から見るどくなったかのようにみえるのです。およそ15年ごとに繰り返される珍しい現象で9月4日に起こります。8月11日には太陽が真横から照らして環の面に光が当たらなくなり環が見られなくなります。春先にはし座の後ろ足あたりに土星があり、望遠鏡で見ると極細の環となった姿が見られます。ぜひ見てくださいね☆(星 ゆかり)



★『S.P.Vつうしん』発行予定 第21号 6月下旬★

★S.P.Vの楽しくてタイムリーなボランティア活動情報をHPでお知らせしています

HPアドレス <http://www.spacepark.city.koriyama.fukushima.jp>

募集や活動等についてのお問合せは……ふれあい科学館 TEL 024(936)0201まで

編集
あとがき
（）

春一ぱん、可憐な花を見せる福寿草の生きる強さにこころして、元気で今年も頑張ります。(国)
冬の夜、時には熱いコーヒーでも飲みながら空をながめてみませんか?今ならレグルス(小さな王様)があなたをお出迎え、です。(椎)
ボランティアを募集しています。皆様のお声かけいただければ幸いです。(池)
ガリレオが望遠鏡で星空をのぞいてから400年…、世界天文年のお花見…やっぱりお星見にしましょう☆☆(星)